ジオパークとは？

ジオパークとは、人と大地の関係を、楽しみながら学習できる自然の公園です。地質や地形だけではなく、すばらしい景観や貴重な動植物をはじめ、文化や歴史、さらにはおいしい食べ物や温泉など、大地の上のすべてのものをまるごと楽しもうというもので、大地を楽しく学ぶテーマパークです。

磐梯山の成り立ち

磐梯火山は、磐梯山（大磐梯）（1816m）、櫛ヶ峰(1636m)、赤埴山(1430m)の三つの峰からなる成層火山です。磐梯火山には、噴出したマグマが冷え固まってできた安山岩質の溶岩の他に、火砕流堆積物や火山灰などが厚く積み重なっています。

磐梯火山の活動はおよそ70万年前に始まりました。まず、櫛ヶ峰や赤埴山を含んだ大きな山体が形成されました。数万年前、磐梯火山の南西側が大規模に崩れ、広い面積をおおう岩なだれが発生しました。その後、崩れた場所に、大磐梯やその北側の小磐梯をつくる活動が起こり、1～2万年前には大磐梯を中心とした山容ができ上がりました。さらに、1888（明治21）年の水蒸気爆発による噴火で小磐梯の山体が崩壊し、切り立った崖に岩肌が露出した爆裂火口が生じました。この時に流下した岩なだれによる川のせき止めで、桧原湖や五色沼をはじめとする裏磐梯の湖沼群が誕生しました。

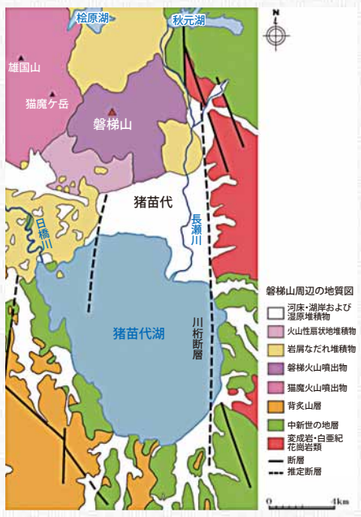
岩なだれ

「岩なだれ」とは大規模かつ高速で起こる山体の崩壊現象です。火砕流や泥流とは異なり、破壊された大小の岩塊が、マグマ物質を含まず、水もほとんど含まない状態で流下します。岩なだれの堆積地域では、起伏のある丘陵（流れ山）が形成されます。「岩屑なだれ」とも言います。

磐梯山の魅力

磐梯山周辺の地質

磐梯山が誕生する前からこの地域にあった地層や岩石、つまり磐梯山の土台石（基盤岩）は、川桁断層より東側にある白亜紀以前（1億年前以前）の花崗岩・変成岩、新第三紀中新世（1300万～1500万年前）の海底火山噴出物など、そして第四紀前半（約150万年前）の火砕流堆積物（背炙山層）からなります。磐梯火山は、第四紀後半（約70万年前）になって、猪苗代盆地上にマグマが噴出してその形成が始まりました。



磐梯山周辺の自然

・磐梯山の植物

磐梯山周辺は緯度的には落葉広葉樹林が発達する場所ですが、標高の違いに応じてコナラ林（510m～750m）・ブナ林（750m～1500m）・アオモリトドマツ林（1500m～2000m）などの森林があります。裏磐梯には明治の噴火に伴う岩なだれ上に、遷移途上のアカマツ林やハンノキ林、貧栄養湖のコケ植物、草原などの群落があります。また、磐梯山周辺には氷河期の遺存植物が見られる高層湿原の雄国沼湿原と赤井谷地があります。

・磐梯山の動物

磐梯山周辺では小型のほ乳類や野鳥・昆虫類など多様な動物の棲息があります。特に野鳥とトンボ類は多く棲息しています。

ほ乳類／大型ではツキノワグマ・カモシカ、中型ではニホンザルやノウサギなど、小型ではホンドリスやモモンガなど、合計30種類の棲息が確認されています。

鳥　類／高山性の種としてはカヤクグリなど、森林性としてはキビタキなど、水辺ではカワセミなど、草原ではカッコウなど留鳥と夏鳥で約100種類、冬鳥で約60種類が確認されています。

磐梯山の歴史・文化

磐梯山は古来神々が宿る神聖な山として人々に崇められてきました。特に南西山麓には、平安時代初期に南都（奈良）の学僧「徳一」によって「慧日寺」が開かれました。慧日寺は霊峰磐梯山を仰ぎ、会津盆地を眼下に望む丘陵地帯に位置し、薬師如来を本尊とし奥の院に磐梯明神をまつる神仏習合の霊場として栄えた山岳寺院で、東国屈指の大寺院といわれる貴重な歴史的文化遺産です。

「世界ジオパーク」への加盟を目指して

磐梯山ジオパーク協議会

日本の地質の大きな特徴は、変動帯に位置していることによりたくさんの火山があることです。その中でも磐梯山の特徴は、岩なだれを発生する火山活動が繰り返し起こった結果、周囲に美しい景観を作り出していることにあります。1888(明治21)年に起こった水蒸気爆発による岩なだれは、477人もの犠牲者を出し、裏磐梯は一面の荒野となりましたが、その後の植林開発、国立公園の指定などに多くの先人達が力を注ぎ、今日を迎えています。

眺める方向により「会津富士」と称されるやさしくなだらかな山容と、大噴火の爪痕を今なお残す荒々しさ、という対照的な二つの姿をもつ磐梯山の麓には、日本有数の透明度を有し、天を映す鏡（天鏡）に例えられる猪苗代湖や、明治の噴火によって誕生した大小300余りの湖沼群が織りなす水と緑の美しい裏磐梯高原が広がっています。大自然が創り出した地質学的価値と美しい景観を併せもつ磐梯山は、まさに福島県を代表する山であり、私たちにとってかけがえのない貴重な財産です。

磐梯山は歴史と文化をはぐくんだ山でもあります。南側の山麓や猪苗代湖畔には、旧石器時代や縄文時代の人々の生活を示すたくさんの遺跡があります。南西麓には、平安時代初期に高僧徳一菩薩によって慧日寺が開かれました。猪苗代町には、平安時代に建てられた磐椅神社や会津藩初代藩主の保科正之を祀っている土津神社など、磐梯山に関わる神社仏閣があります。

このたび、磐梯山周辺の３町村（猪苗代町、磐梯町、北塩原村）では、これら貴重な地質遺産と稀有な自然環境・文化・伝統を保全・教育・研究し、地域づくりに活かすため、「世界ジオパーク」への加盟を目指すこととしました。

「世界ジオパーク」は、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワーク（GGN）が認証しているもので、科学的・文化的価値のある地質遺産を見どころとした自然公園のことをいいます。現在、日本では30に近い地域がこのネットワーク加盟を目指して活動していますが、当地域においてもこれらの地域とともに世界に向けてこの貴重な自然環境を発信することで、より質の高い自然公園をつくり上げていきたいと考えています。

このことから、関係機関や各種団体の代表者、地域住民、研究者らによる「磐梯山ジオパーク協議会」を平成22年３月４日に設立し、地域が一体となった取組みを進めております。

ジオを楽しみ ジオを知る旅 磐梯山ジオサイトモデルコース！

プラン1 裏磐梯湖沼群エリアツアー　Total 約3時間プラン

1888年の噴火による岩なだれで堰き止められてできた湖沼と流れ山の地形

ビジターセンター（Start）20分 →徒歩約5分→ 五色沼 1時間30分 →徒歩約5分→ 桧原湖 20分 →車で約10分→ 中瀬沼 40分（Goal）

交通方法／猪苗代駅から磐梯東都バスで約25分、五色沼入口下車で徒歩1分。磐越道猪苗代ICから北に約16kmで、約20分。

プラン2 磐梯火山エリアツアー　Total 約3時間プラン

磐梯山ジオパークエリアの中心。磐梯火山の主要な山体と1888年の馬蹄形カルデラ

磐梯山噴火記念館（Start）30分 →車で約10分→ 裏磐梯スキー場 →徒歩約40分→ 銅沼 1時間 →徒歩約30分→ 裏磐梯スキー場 →車で約10分→ 流れ山露頭 10分（Goal）

交通方法／猪苗代駅から磐梯東都バスで約30分、噴火記念館下車で徒歩1分。磐越道猪苗代ICから北に約18kmで、約25分。

プラン3 磐梯火山南西麓エリアツアー　Total 約2時間プラン

会津仏教文化発祥の地と名水百選を代表する流水池

磐梯山慧日寺資料館（Start）30分 →徒歩約5分→ 慧日寺跡 20分 →徒歩約20分→ 龍ヶ沢湧水 10分 →徒歩約20分→ 磐梯神社 10分（Goal）

交通方法／磐梯町駅から磐梯東都バスで約5分、資料館下車で徒歩1分。磐越道磐梯河東ICから北に約3kmで、約5分。

プラン4 天鏡台・猪苗代湖北西岸エリアツアー　Total 約2時間プラン

大パノラマ景勝地と磐梯火山の扇状地に立地する史跡群

野口英世記念館 会津民俗館（Start）1時間 →車で約10分→ 天鏡台 10分 →車で約5分→ リゾートスキー場 20分 →車で約10分→ 三忠碑 旧二本松街道 20分（Goal）

交通方法／猪苗代駅から磐梯東都バスで約6分、記念館下車で徒歩1分。磐越道猪苗代ICから西に約4kmで、約5分。

プラン5 猪苗代中央エリアツアー　Total 約1時間30分プラン

磐梯山山麓にある神社・城跡などの歴史遺産と1888年の噴火の爪痕

亀ケ城（Start）20分 →徒歩約15分→ 土津神社 20分 →徒歩約10分→ 磐椅神社 10分 →車で約5分→ 見祢の大石 20分（Goal）

交通方法／猪苗代駅からタクシーで約10分。磐越道猪苗代ICから北に約4kmで、約10分。

もっと体験しよう!! 磐梯山ジオサイト関連施設

福島県立博物館　MAP E-1
（会津若松市城東町1-25）TEL0242-28-6000
開館時間/9:30～17:00　休館日/毎週月曜日
❶http://www.general-museum.fks.ed.jp/
✉netmaster@general-museum.fks.ed.jp

野口英世記念館　MAP D-3
（猪苗代町三ツ和字前田81）TEL0242-65-2319
開館時間/8:30～17:00（夏季）9:00～16:15（冬季）休館日/無休
❶http://www.noguchihideyo.or.jp/
✉info@noguchihideyo.or.jp

会津民俗館　MAP D-3
（猪苗代町三ツ和字前田33-1）TEL0242-65-2600
開館時間/8:30～17:00（夏季）9:00～16:30（冬季）
休館日/3月21日～11月19日：火曜日休館
11月20日～翌3月20日：火曜日から金曜日が休館
❶http://www8.ocn.ne.jp/~afm1/　✉afm@gamma.ocn.ne.jp

磐梯山慧日寺資料館　MAP D-2
（磐梯町磐梯字寺西38）TEL0242-73-3000
開館時間/9:00～17:00　開館期間/4月1日～11月30日

磐梯山噴火記念館　MAP B-3
（北塩原村桧原字剣ヶ峯1093-36）TEL0241-32-2888
開館時間/8:00～17:00（夏季）9:00～16:00（冬季）休館日/無休
❶http://www.bandaimuse.jp/　✉master@bandaimuse.jp

裏磐梯ビジターセンター　MAP B-3
（北塩原村桧原字剣ヶ峯1093-697）TEL0241-32-2850
開館時間/9:00～17:00（夏季）9:00～16:00（冬季）休館日/火曜日
❶http://www.urabandai-vc.jp/

会津米沢街道「桧原歴史館」　MAP A-2
（北塩原村大字桧原字苧畑沢1034-19）TEL0241-34-2200
開館時間/9:00～17:00休館日/火曜日

宿泊施設のご案内

磐梯山周辺（猪苗代町、磐梯町、北塩原村）には、ホテル、旅館、民宿、ペンションなど、お好みに応じた宿泊施設が豊富にございます。
お気軽にお問い合わせください。

㈱猪苗代観光協会	TEL.0242-62-2048
磐梯町観光協会	TEL.0242-74-1214
裏磐梯観光協会	TEL.0241-32-2349

Bandaisan Geopark

磐梯山ジオパーク

世界ジオパークを目指して

ジオ〈地球〉を楽しみ、ジオを知る旅。

福島県猪苗代町 Inawashiro-machi

福島県磐梯町 Bandai-machi

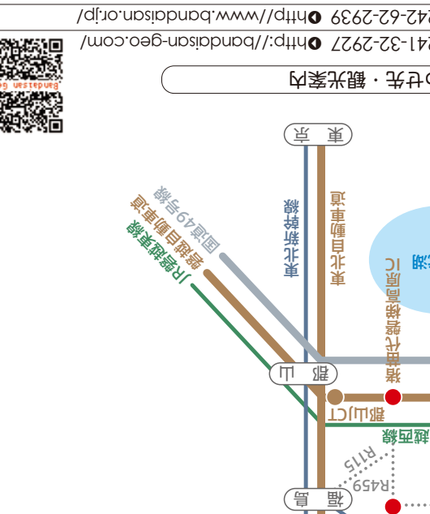
福島県北塩原村 Kitashiobara-mura

GEOPARKS JAPAN 日本ジオパーク

磐梯山ジオパーク協議会
［構成団体：猪苗代町　磐梯町　北塩原村　福島県　猪苗代町商工会　磐梯町商工会　北塩原村商工会　㈱猪苗代観光協会　磐梯町観光協会　裏磐梯観光協会　福島県立博物館　野口英世記念館　磐梯山噴火記念館　猪苗代山岳会　裏磐梯エコツーリズム協会　国立磐梯青少年交流の家］
お問い合わせ先：磐梯山ジオパーク協議会事務局（北塩原村自然環境活用センター内　TEL 0241-32-2927）

問い合わせ先・観光案内

磐梯山ジオパーク協議会　TEL0241-32-2927　❶http://bandaisan-geo.com/
㈱猪苗代観光協会　TEL0242-62-2048　TEL0242-62-2939　❶http://www.bandaisan.or.jp/
猪苗代町商工観光課　TEL0242-62-2117　TEL0242-62-5175　❶http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/
磐梯町商工観光課　TEL0242-74-1214　TEL0242-73-2115　❶http://www.town.bandai.fukushima.jp/
裏磐梯観光協会　TEL0242-74-1214　TEL0242-73-2115　❶http://www.town.bandai.fukushima.jp/
北塩原村商工観光課　TEL0241-32-2511　TEL0241-32-3333　❶http://www.urabandai-inf.com
北塩原村商工観光課　TEL0241-32-2511　TEL0241-32-3152　❶http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/



磐梯山ジオパーク エリア別ジオサイト

磐梯山ジオパークの各エリアをご紹介いたします!!

A 桧原湖北岸エリア 北塩原村

1888(明治21)年の噴火で生じた桧原湖と周辺の戦国時代遺跡

桧原湖の北岸に位置する「桧原」は、15世紀末頃から栄えていた旧米沢街道の宿場町。1888（明治21）年の磐梯山噴火により湖底に沈んだが、渇水時には大山祇神社の参道が鳥居とともに湖底から姿を見せています。

また、この旧米沢街道沿いには、およそ1300万年前の磐梯火山の基盤をなす地層が露出しており、この地域が海底だった証拠を示す貝化石や海底火山噴出物が見られます。

大山祇神社

穴沢一族五輪の塔

交通 猪苗代駅から桧原行バスで約50分

1. 小谷山城跡：中世の山城跡
2. 大山祇神社：1888年の噴火で湖底に沈む
3. 穴沢一族五輪の塔：芦名氏の家臣の塔
4. グリーンタフ露頭：1300万年前の海底堆積物
5. 桧原歴史館：江戸時代の検断屋敷の復元

B 裏磐梯湖沼群エリア 北塩原村

岩なだれとせき止めで生まれた300余りの湖沼群の地質と自然

1888（明治21）年の噴火により、小磐梯が北側に崩れて川をせき止め、桧原湖、小野川湖、秋元湖、曽原湖の湖や、五色沼を代表とする沼など、300余の湖沼群が形成されました。現在、磐梯朝日国立公園の中心地となっています。

また、この噴火による岩なだれは、数多くの小高い丘を作りだしました。それが流れ山と呼ばれるもので、磐梯山噴火記念館の３Ｄワールドの裏の露頭では、その断面を観察することができます。

五色沼（青沼）

中瀬沼

交通 猪苗代駅から磐梯高原行バスで約30分

6. 桧原湖：日本一の火山性堰き止め湖、周囲37km
7. 小野川湖：湖尻に無数の岩山を浮かべて絶景
8. 秋元湖：中津川などの清流を集めた湖
9. 曽原湖：高原を思わせるのどかな水辺
10. 中瀬沼：磐梯山の噴火口を背景に樹海のある景観
11. 流れ山露頭：３Ｄワールドで流れ山の内部構造見学
12. 青沼（五色沼）：ウカミカマゴケで覆われている
13. るり沼（五色沼）：湖底には広くコケが繁茂
14. 弁天沼（五色沼）：フトヒルムシロが繁茂
15. みどろ沼（五色沼）：オヒルムシロが繁茂
16. 毘沙門沼（五色沼）：五色沼最大の沼
17. 磐梯山噴火記念館：磐梯山を紹介する火山博物館
18. 裏磐梯ビジターセンター：裏磐梯の自然を紹介

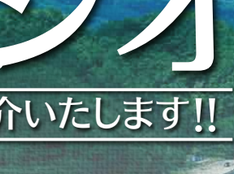
〈凡例〉
- 地質・地形・景勝地
- 動植物
- 公園・庭園
- 産業
- 史跡
- 神社仏閣
- 文化施設

C 猫魔火山エリア 北塩原村 磐梯町

磐梯山の兄弟火山、猫魔火山のカルデラ湖である雄国沼とそれを取り巻く外輪山

磐梯火山の西方にある猫魔火山は、磐梯山と同じ安山岩質の火山活動により、100万～ 40万年前に形成された火山です。雄国沼は猫魔火山の噴火によって噴火口の周りが陥没して生じたカルデラ湖であり、猫魔ヶ岳や雄国山を外輪山にもちます。初夏にはニッコウキスゲの大群落が咲き誇り、雄国沼湿原植物群落として国の天然記念物に指定されています。

猫魔ケ岳


雄国沼

交通 自動車で磐越道猪苗代ICから約30kmの雄国沼入口へ、そこから歩いて約１時間

19. 猫魔ケ岳：猫魔火山の最高峰
20. 猫石：輝石安山岩からなる奇岩
21. 雄国沼：標高1089m、周囲約3.5kmのカルデラ湖

D 磐梯火山エリア 北塩原村 猪苗代町 磐梯町

磐梯山ジオパークの中心エリア。磐梯火山の主要山体と1888（明治21）年の噴火で生じた壮大な馬蹄形カルデラ

1888（明治21）年の噴火で生じた爆裂火口では、火山の内部構造、特に磐梯山を造っている火山角礫岩・溶岩の互層がよく見えます。磐梯山の山頂付近には、以前上の湯、中の湯と下の湯の３つの湯治場がありましたが、1888（明治21）年の噴火でほとんど壊滅し、現在廃墟となっている中の湯は、噴火後に南に移転して建てられたものです。爆裂火口の中心部に銅沼があります。沼の南側では今でも噴気が上がっており活火山を実感できます。名前のとおり赤茶けているのは、鉄分を多く含んでいるためです。強酸性の沼で、魚は棲めません。

1888（明治21）年の噴火により、磐梯山の北側は急峻な火口壁となり、昭和29年の大雨で斜面崩壊を起し、北側に崩れ、その堆積物の地形が今の裏磐梯スキー場の大部分を形造りました。噴火後の二次災害が与えためぐみです。

爆裂火口壁と銅沼

裏磐梯スキー場（箱状谷地形）

交通 猪苗代駅から磐梯高原行バスで約40分で、そこから徒歩で銅沼まで約1時間

22. 裏磐梯スキー場終点：箱状谷地形観察
23. 銅沼（あかぬま）：爆裂火口壁直下の強酸性の沼
24. 爆裂火口壁：磐梯山の形成過程を見る
25. 噴火口の原生林：乾燥遷移初期の低木林
26. 磐梯山：磐梯火山の主峰
27. 櫛ケ峰：磐梯火山の古期活動により形成
28. 赤埴山：山体を構成する岩石が赤みを帯びる
29. 沼ノ平：磐梯火山の新期の火口
30. 中の湯：開湯は江戸時代初めまでさかのぼる
31. 小屋川の滝：磐梯山の古い溶岩が滝を作る

E 磐梯火山東麓エリア 猪苗代町

1888（明治21）年の磐梯山噴火による泥流の末端部

1888（明治21）年の噴火の岩なだれによるせき止めで誕生した秋元湖。その水量と高水位を利用して建設された発電所や、この噴火による泥流で亡くなった人々の慰霊碑があります。長瀬川の対岸には、磐梯山の古い時期の岩なだれにより運ばれたと思われる集塊岩の巨石があり、近隣の人たちから「赤猫大明神」として信仰を集めていました。

秋元発電所

殉難之精霊碑

交通 猪苗代駅から磐梯高原行バスで約15分

32. 殉難之精霊碑：1888（明治21）年の噴火での慰霊碑
33. 長坂遺跡：縄文時代の遺跡
34. 秋元発電所：秋元湖の高水位を利用した発電所
35. 赤猫大明神：磐梯山の岩なだれで運ばれた巨石

F 磐梯火山南西麓エリア 磐梯町

磐梯山信仰と結びついた会津仏教文化発祥の地「慧日寺」寺院群と翁島岩なだれ地形

JR磐梯町駅南方300～400メートルの鉄道沿線に、風化の進んだ安山岩の火山岩塊が散在しています。これは磐梯火山の爆発により生じた岩なだれ（翁島岩なだれ）が運んだ岩塊です。

このエリアには、平安時代の初期に徳一菩薩によって開創され、さまざまな文物の招来を通して、会津仏教文化の礎を築いた慧日寺があります。また、磐梯山の修験道は慧日寺を基点に、更科不動滝を通る東道と、猫魔ケ岳を通る西道の二つのルートがあって、この経路模型は磐梯山慧日寺資料館に展示されています。

翁島岩なだれ堆積物

史跡慧日寺跡の全景

交通 JR磐越西線磐梯町駅から徒歩で約20分

36. 龍ヶ沢湧水：磐梯西山麓湧水群を代表する湧水池
37. 磐梯神社：慧日寺の鎮守の磐梯明神を起源とする神社
38. 慧日寺跡：徳一菩薩により創建された寺院跡　国史跡
39. 岩なだれ堆積物：翁島岩なだれで運ばれた岩塊
40. 修験道：慧日寺を基点として二つのルートがあった
41. 磐梯山慧日寺資料館：慧日寺関連の文化財を多数展示公開

G 天鏡台エリア 猪苗代町

大パノラマ景勝地と磐梯火山の扇状地に立地する史跡群

磐梯山麓標高700mの高台に位置する天鏡台は、約３万年前に噴出された溶岩により形成されており、後方に磐梯山主峰、前方に猪苗代湖や遠く南会津、那須連峰を望む景勝地です。川桁断層による断層崖地形も見られます。また、噴出したマグマが空中で冷え固まって生じたパン皮状火山弾が露出しています。

火山性の扇状地が分布する磐梯山南麓には、1589（天正17）年、芦名氏と伊達氏との合戦が行われた摺上原古戦場があり、この合戦での芦名家家臣の忠誠を後世に伝える三忠碑や、旧二本松街道の松並木も点在します。

翁島岩なだれ地形

三忠碑

交通 自動車で磐越道猪苗代ICから約8km、20分

42. パン皮状火山弾：磐梯火山の古期火山弾
43. 天鏡台溶岩類：磐梯火山の新期溶岩類
44. 天鏡台：磐梯山南麓に位置する景勝地
45. リゾートスキー場：翁島岩なだれの地形を遠望
46. 摺上原古戦場：1589年、芦名と伊達の合戦場
47. 三忠碑：摺上原の合戦で戦死した芦名の家臣の碑
48. 旧二本松街道：近世の会津と二本松を結ぶ交通路

H 猪苗代中央エリア 猪苗代町

磐梯山南麓にある神社・城跡などの歴史遺産と1888年噴火の爪痕

この山麓にある「見祢の大石」は、1888（明治21）年の噴火の際、火口付近にあった安山岩の巨塊が火山性泥流にのって運ばれたもので、国指定天然記念物となっています。

磐椅神社は、和銅年間に創建されたとも伝えられる古社で、「延喜式神名帳」に記されたいわゆる「式内社」としても知られており、会津地方を代表する格式ある神社です。また、会津初代藩主保科正之公没後1675（延宝3）年に創建された土津神社には、保科正之が祭られています。神社、奥の院（保科正之公の墳墓）ともに会津藩主松平家墓所として国指定史跡となっています。ここの石碑、墓石は磐梯山の安山岩が使われています。

磐梯火山の火山噴出物の末端部の高まりに築かれた平山城である猪苗代城は、中世にこの地を支配した猪苗代氏の代々の居城で亀ヶ城とも呼ばれています。幕末まで会津藩の東の要として残されましたが、戊辰戦争によって建物等は焼失してしまいました。現在は、お城山公園と呼ばれ町民の憩いの場になっています。

見祢の大石

土津神社

交通 自動車で磐越道猪苗代ICから約4km、10分

49. 磐椅神社：延喜式内社として広く信仰を集める
50. 大鹿桜：天暦年間に京都から運んで植えた桜
51. 土津神社：会津初代藩主保科正之を祭る神社
52. 亀ヶ城：磐梯火山の火山噴出物上に築かれた
53. 見祢の大石：1888（明治21）年噴火で運ばれた巨岩
54. 磐梯山災死者招魂碑：1888（明治21）年噴火の犠牲者の碑
55. 磐梯山破裂罹災死没之墓：西円寺にある犠牲者の墓
56. 招魂之碑：西勝寺にある噴火の慰霊の碑

I 猪苗代湖北西岸エリア 会津若松市 猪苗代町 磐梯町

岩なだれによる堆積地形上に立地する史跡群

翁島岩なだれによって形成された流れ山の間に、国重要文化財に指定された縄文時代の遺物が発掘された法正尻遺跡と、サギソウの群生地として知られる法正尻湿原があります。同じ翁島岩なだれによって形成された流れ山の一つに猪苗代湖の神島と言われる猪苗代湖唯一の島、翁島があり、以前皇室がプライベートビーチとして利用されていました。また、皇室の別荘である「天鏡閣」や「迎賓館」も立地しています。

天鏡閣

赤井谷地

交通 自動車で磐越道猪苗代ICから約10km、25分

57. 法正尻湿原：赤井谷地と並ぶ代表的な湿原
58. 法正尻遺跡：国重要文化財に指定された縄文時代の遺跡
59. 翁島：翁島岩なだれによる流れ山地形
60. 湖畔の森：流れ山地形中にある森
61. 天鏡閣：有栖川宮威仁親王別邸
62. 迎賓館：旧高松宮翁島別邸
63. 十六橋：天明6年、材木石で作った橋
64. 赤井谷地：寒地性湿原植物群として天然記念物
65. 野口英世記念館：野口英世を顕彰する博物館
66. 会津民俗館：会津の先人の生活を紹介する博物館

J 猪苗代湖北東岸エリア 猪苗代町

白鳥の飛来する遠浅の湖岸と東北地方を横断する大断層、川桁断層

日本を縦断する大断層の延長部である川桁断層が南北に走り、断層に沿って特徴的な断層崖の発達が見られます。断層の東側に結晶片岩が露出しており、地層の時代は数億年前の古生代にさかのぼる可能性があります。

猪苗代湖の北東岸（天神浜）にある小平潟天満宮は、日本三大天満宮のひとつに数えられ、学問の神様菅原道真を祀っております。受験戦争の現代に再び脚光を浴び、多くの受験生がここを訪れています。猪苗代湖北岸（白鳥浜）では、毎年白鳥をはじめとする渡り鳥の越冬が見られ、ミズスギゴケ群落とともに国の天然記念物に指定されています。

川桁断層崖

小平潟天満宮

交通 自動車で磐越道猪苗代ICから約2km、5分

67. 白鳥飛来地：国の天然記念物に指定
68. 天神浜：長瀬川河口の三角州地帯
69. 小平潟天満宮と猪苗代兼載史跡群：日本三大天満宮
70. 川桁断層下の扇状地：断層崖の三角面が見える
71. 観音寺：観音寺川沿いに位置する古刹
72. 川桁断層：日本を縦断する大断層の延長部
73. 関脇優婆夷堂：「おんばさま」と言われる安産祈願の堂

0 1 2 3km